

令和3年度 施策評価表（案） （令和2年度実績分）

【足立区子ども・子育て支援事業計画】

はじめに

平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に伴い、足立区においても第1期に引き続き、令和2年3月に「第2期足立区子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。第1期の取り組みの成果や課題を踏まえ、「子育ての質の向上」と、支援が途切れないよう、「ライフステージ間のつながりの強化」を重要な視点とし、各計画とも連携しながら、切れ目のない支援による子育て環境の充実を目指し取り組んでいます。

第2期計画でも、令和6年度までに足立区が取り組むべき施策を定めるとともに、各年度毎に実績を評価していきます。ついては、令和2年度実績の評価は以下のとおりです。

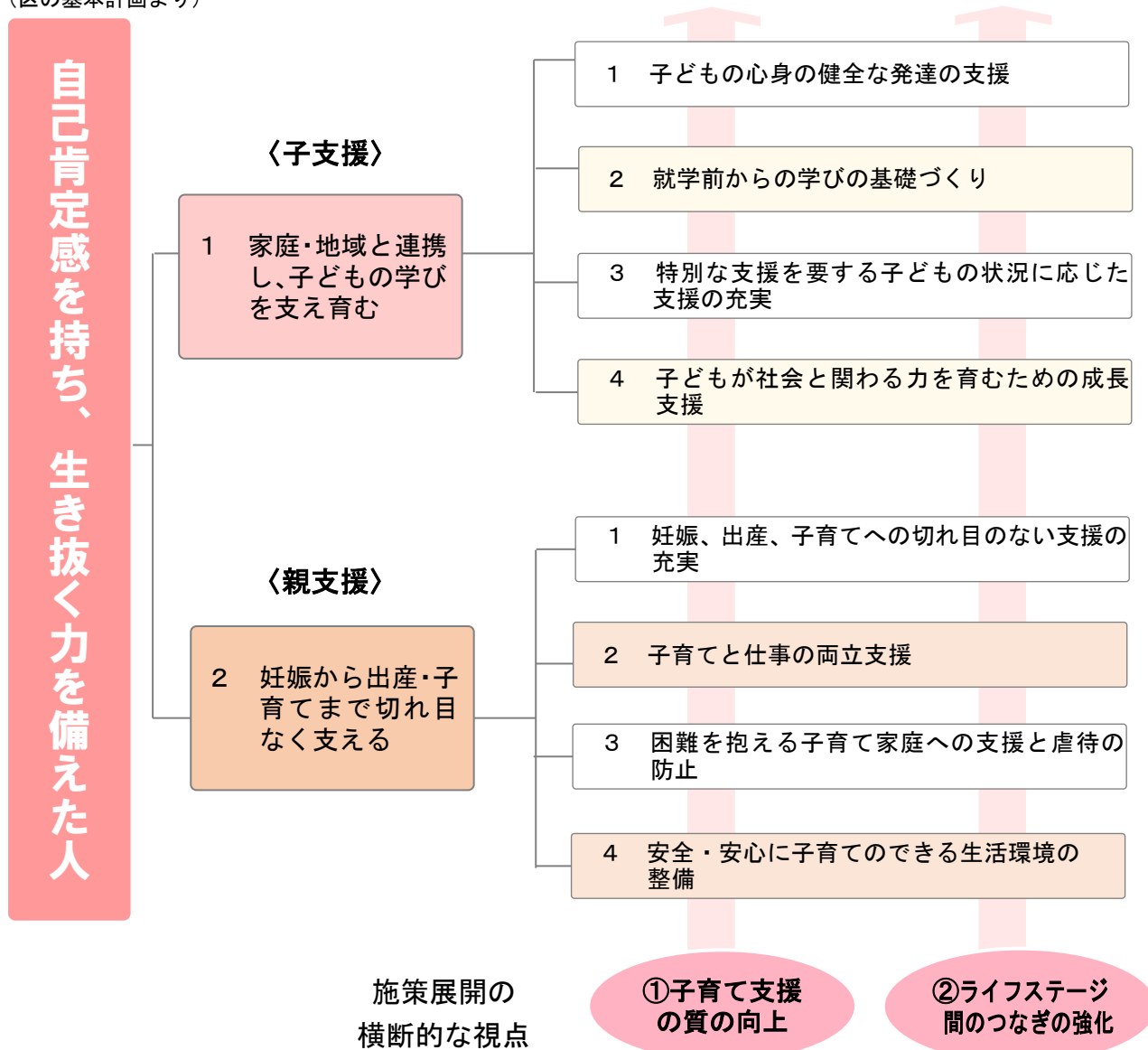
※計画の進捗状況の管理については、PDCA サイクルのもと対象事業の実施状況等について客観的かつ専門的な立場から意見交換、調査・審議を行います。

【子ども・子育て支援事業計画の体系】

[柱立て]
(区の基本計画より)

[施策群]

[施策]



施策群 1

家庭・地域と連携し、
子どもの学びを支え育む

施策【1-1】

1 施策の概要

担当課 青少年課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人							
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む							
施策	1-1 子どもの心身の健全な発達の支援							
施策の方向	・食育や歯科健診の取り組み、読書習慣、運動遊びなど、子どもの心と体の基盤となる生活習慣づくりを推進します。							

2 成果指標

指標1	指標名	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合							
	定義	年1回取り組んだ保育園、保護者等に実施したアンケートで「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけるようになったと回答した方の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			65	65				目標値
	実績値		-	68.3					65%
指標2	達成率			105%	0%				
	指標名	1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べる幼児の割合							
	定義	3歳児健康診査アンケートによる集計値(1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べると回答した件数／アンケートの回収件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			33	36				目標値
指標3	実績値		28.7	28.8					45%
	達成率			87%	0%				
	指標名	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	定義	4～5歳児を対象とした、生活・ベジタベアンケートで、「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			76	77				目標値
	実績値		75.5	77.1					80%
	達成率			101%	0%				

3 担当課における施策評価

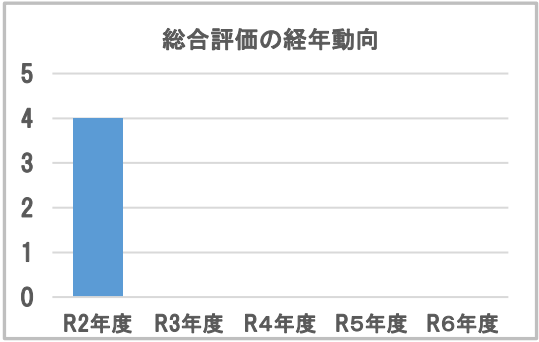
【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析
【指標1】「早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになった」と回答した割合は全体で68.3%で目標値を上回った。生活リズム定着が大切だと認識する保護者が増加していることがうかがえる。
【指標2】実績値はほぼ横ばいで推移している。目標値に及ばなかったのは、1日3食野菜を食べることの重要性は徐々に定着してきているが、コロナ禍において健康教室が中止となった影響と考える。
【指標3】「親子で絵本を読む」と回答した方の割合が目標値を上回った。絵本の配付や、図書館でのおはなし会の実施を継続することによって、親子で絵本を楽しむ機会が定着してきていると考える。

【指標1】「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダーは四週間版チェックブックを中心に実施しつつ、HP等で年間版カレンダーの活用を周知し、基本的な生活習慣の定着につなげていく。
【指標2】引き続き乳幼児健診や健康教室等での周知に努めていく。また、保育園児等を対象とした「ひとくちめはやさいから」のチャレンジシートを活用し、乳幼児期から幼児期につなげていく。
【指標3】「あだちはじめてえほん」等の実施により、乳幼児から絵本の楽しさを伝える。さらに学校と連携し、学年に合わせた本をHPで紹介するとともに、ブックリストを毎年発行し、読書習慣の定着につなげる。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	「早寝・早起き・朝ごはん」といった生活リズムの定着化が数値に表れてきている。また1日3食野菜を食べる取り組みは、コロナ禍における教室中止が影響し実績が伸び悩んだ。「親子で絵本を読む」取り組みは、アウトリーチ事業の実施によるきめ細かい事業展開により目標を上回った。規則正しい生活習慣と野菜を食べる習慣を定着させるため、コロナ禍だからこそ、工夫して啓発してほしい。子どもの心身の健全な発達を支援するため、事業展開の工夫と効果検証を期待する。							
R2年度								
4								



施策【1-1】

施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
1	①早寝・早起き・朝ごはんの推進【青少年課】	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園数（園数）	「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 〈現状値内訳〉区立保育園・認定こども園30園、私立保育園127園、私立幼稚園・認定こども園51園、認証保育所15園 《【】内は対象園（全園）》	目標値	170	169			188
					【223】	【221】			【201】
				実績値	158				
					【223】				
達成率					93%	0%			0%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダーは四週間版チェックブックは実施園では好評であった。今後実施園を拡大するために、未実施園への周知にとどまらずSNSの発信、HPへの掲載等活用方法の提案も行っていく。1年間版については、負担感を原因分析し、活用方法等を検討していく。						
A	改善・変更								
2	②食育の推進事業【子ども施設指導・支援担当課】	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数（園数）	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 〈現状値内訳〉区立保育園・認定こども園30園、私立保育園111園、公設民営保育園16園、認証保育所13園、私立幼稚園・私立認定こども園51園 《【】内は対象園（全園）》	目標値	113	168			150
					【221】	【221】			【201】
				実績値	156				
					【221】				
達成率					138%	0%			0%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）目標を大きく上回った。生涯にわたる良い食習慣の定着のため、今後も就学前から子どもたちの食への関心、意識を向上させるため、おいしい給食・食育事業を強化し、「ひと口目は野菜から」及び「あだち食のスタンダード」のさらなる定着と実施施設の拡大を目指していく。						
A	現状維持								
3	③保健所での健康教育・食育の推進【保健予防課】	3～4か月児健康診査、育児学級、健やか親子相談の実施回数（回）	各保健センター等における乳幼児健康診査・育児学級及び住区センターにおける健やか親子相談の実施回数 《【】内は参加者数》	目標値	638	641			650
					【12,000】	【11,920】			【11,700】
				実績値	206				
					【4,257】				
達成率					32%	0%			0%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3～4か月児健康診査は4月・5月は中止とした。集団で行う育児学級と健やか親子相談もほぼ中止としたため、目標値を大きく下回った。HPに動画を掲載するなど工夫はしたが、健康教室を食育啓発の大切な機会と捉えているため、今後も根気強く伝えていくことが重要と考えている。						
B	現状維持								
4	④あだちっ子歯科健診【子ども政策課】	歯科健診受診勧奨ハガキの送付者数（人）	初回の未通園者全員への歯科健診受診勧奨ハガキ送付及び未受診者に対する継続的な受診勧奨ハガキの送付等延べ送付人数 《【】内は回数と対象者》	目標値	1600	1900			2,000
					①【750】	①【750】			①【750】
					②【850】	②【450】			②【650】
						③【700】			③【600】
				実績値	1595				
					①【747】				
					②【848】				
				達成率					100%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）データ分析により前年度の未受診児がわかったため、重点的に受診勧奨を強化する。ハガキの送付は全3回実施するが、通常の事業開始前（1回目）と事業終了1か月前（3回目）の未受診者送付に加え、2回目として事業開始時に前年度未受診児へのハガキの送付を追加する。今後も視覚に訴え、より目をひくハガキを活用し、受診勧奨を図っていく。						
A	現状維持								
5	⑤図書館のアウトリーチ事業【中央図書館】	実施回数（回）	図書館に来ない人・来られない人に対して実施した読書活動推進事業の回数	目標値	10	20			60
				実績値	5				
				達成率					50%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となったイベントが多くある状況の中でも、感染対策を行い、シアター1010の文化事業と連携した絵本イベントなどの実施につなげた。図書館から出向き、本を読まない人や図書館に来ない人に対して本の楽しさを伝えることができる事業であり、今後も継続して行っていく。						
A	改善・変更								
6	⑥あだちはじめてえほん【中央図書館】	絵本を受け取った人数（1歳6か月児）（人）	1歳6か月児健診時に区内図書館等で絵本を引き換えた人数 《【】内は全健診対象者》	目標値	3745	3745			3,900
					【5,350】				【4,589】
				実績値	3120				
					【5,350】				
達成率					83%	0%			0%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）新型コロナウイルス感染症拡大により区内図書館等の引換施設が一時的臨時休館となり目標を下回ったが、絵本の引換期間を1年間延長する対策を講じた。図書館に来ない子どもに対しても絵本に触れる機会を提供できる事業であるため、令和3年1月に作成した読み語り動画と合わせて事業のPRを行い、引換率の向上につなげていく。						
A	改善・変更								

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

施策【1-2】

1 施策の概要

担当課 子ども施設指導・支援担当課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-2 就学前からの学びの基礎づくり
施策の方向	・乳幼児期の教育・保育内容の質の向上により、小学校教育へつながる子どもたちの学びの基礎づくりを推進します。

2 成果指標

指標1	指標名	指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の巡回訪問等の際に改善されていた保育施設等の割合							
	定義	(算出式) $A \div B$ A:改善されていた保育施設等の総数 B:指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった保育施設等の総数 ※令和2年度から指標名の実地調査を巡回訪問等に変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			100	100				目標値
	実績値		100	100					100%
	達成率			100%	0%				
指標2	指標名	基本的生活習慣が身についている小学校1年生の割合							
	定義	基本的生活習慣(挨拶や返事・姿勢良く座る・静かに話を聞く)が身についている1年生の人数÷1年生の児童総数 ※転出入を含む新1年生が対象のため、各年度90%を目標としていきます。							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			90	90				目標値
	実績値		90.6	88.4					90%
	達成率			98%	0%				
指標3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値		—						
	達成率								

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】令和元年度の指導検査実施106施設のうち69施設に対し「文書指摘」または「口頭指導」を発したが、令和2年度の巡回訪問において、全ての施設で改善されていることを確認し、概ね目標を達成した。

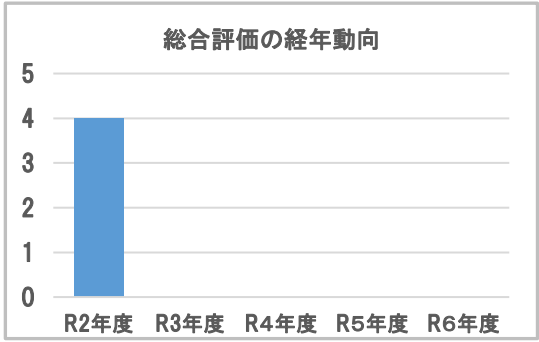
【指標2】新型コロナウイルス感染症に伴い、休園や園行事の中止、遊びの縮小や制限、外出の自粛等を余儀なくされ、子どもたちの経験が例年より量的に減少したことや、飛沫感染・接触感染を防止するための配慮を重視せざるを得なかったことが、実績低下の主要因と考える。

【指標1】就学前教育・保育の質を維持・向上させるため、施設に対して発した指導事項を全ての施設で共有させ、指摘の根絶をめざす。

【指標2】新型コロナウイルス感染拡大の影響で子どもたちの経験の場や機会が減る中、学校と園が幼保小連携活動を継続し、小学校への接続を意識した保育を実践していくことが必要である。直接の交流が困難な中、リモート会議の開催やDVDでの学校紹介や手紙の交流など工夫して幼保小連携を活性化させ、接続期カリキュラムを意識した保育をさらに広めていく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	保育施設等の運営形態が多様化し、コロナ禍といった環境下で、指導検査と巡回訪問等による寄り添い支援を積極的に行っている。また、基本的生活習慣の定着についても、コロナ禍とはいえ、概ね目標を達成している。しかし、コロナ禍で子どもたちの経験の機会が減っていく中、生活習慣への影響が懸念されることから、園や家庭で子どもの育ちに必要環境を作っていくことが重要である。就学前期は、小学校教育へつながる子どもたちの学びの基礎となる大事な時期である。引き続き、小学校への移行を意識した連携強化と、教育・保育の質の維持・向上に努めてもらいたい。
R2年度	
4	



施策【1-2】

施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
7	①教育・保育の質の維持・向上事業 【子ども施設指導・支援担当課】	子ども・子育て支援法に基づく指導検査または巡回訪問等を実施した特定教育・保育施設等の割合（％）	(算出式) $A \div B$ A: 当該年度に指導検査または実地調査のいずれかを実施した保育施設等の数(計327) B: 保育施設等の数(計332) 《【】内は保育施設等の数》	目標値	97 【333】	100 【332】			100 【371】
				実績値	100 【344】				
				達成率	103%	0%			0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 巡回訪問または実地調査を344施設(私立認可92園、小規模27園、家庭的保育130名、認証36園、区立認可27園、区立認定こども園3園、公設民営16園、私立幼稚園・私立認定こども園13園)に延べ1,120回実施した。コロナ禍の中ではあったが、各施設の受け入れ状況は良好で全施設へ訪問できた。※令和2年度から指標の実地調査を巡回訪問等に変更						
8	②就学前教育の推進 【就学前教育推進課】	年齢別研修のうち、集合研修(運動)の参加人数	年齢別研修のうち、集合研修(運動)への参加職員数(保育士、幼稚園教諭) 目標数＝参加職員数(※研修定員数の7割程度を想定) 《【】内は定員数》	目標値	420 【600】	420 【600】			420 【600】
				実績値	355				
				達成率	85%	0%			0%
				目標値	100 【13】	100 【13】			100 【13】
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 研修は、連続性を確保するため受講資格を「各年齢別の担任研修」受講者としたところ、周知が十分に至らず目標を下回った。新型コロナウイルス感染症の影響により幼保小連携ブロック会議を中止したため実績は0となったが、交流や研修等において接続期カリキュラムの活用を図っている。	実績値	0				
				達成率	0%	0%			0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	目標値					
				実績値					
				達成率					

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

施策【1-3】

1 施策の概要

担当課 支援管理課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-3 特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実
施策の方向	・発達障がいなど様々な悩みや課題を抱える子どもたちが、それぞれの特性に応じた支援が受けられるように、支援体制を充実します。

2 成果指標

指標1	指標名	相談児童数のうち、関係機関と連携できた割合							
	定義	支援管理課で相談を受けた児童の特性を捉え、保護者同意のもと、必要に応じ関係機関と連携ができた割合 (相談連携件数÷連携が必要な相談件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			97	98				目標値
	実績値		90	97					98%
	達成率			100%					
指標2	指標名	発達支援児の行動上の課題が軽減した割合							
	定義	前年度に引き続き発達支援委員会で判定を受けた児童の内、保育現場での配慮を行ったことで、支援の程度が軽減若しくは現状維持したと判定された児童の割合 (支援軽減・維持人数÷継続支援児童数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			95	95				目標値
	実績値		89	95					95%
	達成率			100%					
指標3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値		—						
	達成率								

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】来所相談後、不安の強い保護者に対しては継続的に電話などで連絡を行い不安軽減に務めたことで、適切な支援機関につなげることができた。

【指標2】コロナ禍ではあったが、保育者と専門職(心理士・作業療法士)と連携し、児童の発達特性に応じた対応を行ったので、問題行動の軽減につながった。

さらに支援が必要な児童については、園への巡回訪問や保護者面談および保育士へのフィードバックを行った。

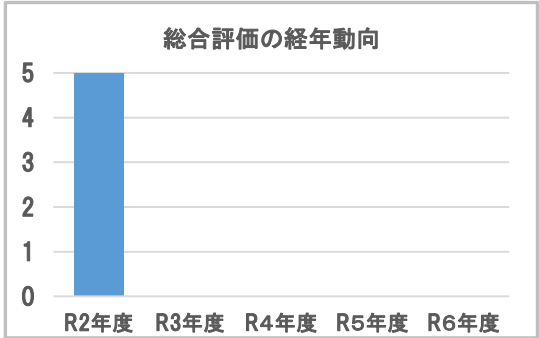
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1・2】保護者が児童の情報を就学先へつなげる手法は確立した。今後は幼稚園・保育所等の就学前機関でのかかわり方を就学先へつなげられるよう、必要な児童全てに、個別支援計画(園生活支援シート)を作成する。令和3年度目標値49%。

既に区立保育園では全員に実施しており、今後は公設民営保育園、私立保育園に訪問の際、園生活支援シートの作成及び確認を行い、スムーズに就学先へつなげられるよう、支援を行っている。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	来所相談後も継続的に電話等で連絡をとり、保護者の不安軽減に努めたことで、適切に関係機関につなげたことは評価できる。また、保育者と専門職の連携で児童の発達特性に応じた対応により、児童の問題行動が軽減したことは、大いに評価できる。ただ、連携機関へつないで終わりではなく、その後の子どもの見守りやフォローアップを丁寧に行っていくことが重要である。また、達成できていない5%の児童に対して、園独自のかかわりを踏まえつつ、必要な支援を検討し、区からの働きかけを続けてもらいたい。個別支援計画の活用もさらに広げ、就学先につなぎ、子どもへの手厚い支援に努めてもらいたい。
R2年度	
5	



施策【1-3】

施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
9	①発達支援児の早期発見・早期支援の取り組み【保健予防課】	3歳児健康診査実施回数（回）	各保健センター等における3歳児健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	125	125			125
					【5,000】	【4,870】			【4,460】
				実績値	114				
					【4,684】				
10	②乳幼児経過観察健康診査・乳幼児療育指導【保健予防課】	乳幼児経過観察健康診査実施回数（回）	各保健センター等における乳幼児経過観察健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	78	78			80
					【776】	【782】			【800】
				実績値	65				
					【435】				
11	③発達支援児の総合的な支援【支援管理課】	相談児童数（人）	こども支援センターげんきへの来所・電話相談、保健センターでの相談、就学前施設での相談（巡回指導、発達支援相談、4歳児対象の気づきのしくみの相談）で受理した児童の延べ人数	目標値	4,320	4,300			4,300
				実績値	4255				
12	④従事職員のスキルアップ研修【支援管理課】	実施回数（回）	講座実施回数 《【 】内は延べ参加者数》	目標値	10	12			10
					【800】	【1,100】			【900】
				実績値	10				
					【1,066】				
				達成率	100%	0%			0%
				目標値					
				実績値					
				達成率					
				目標値					
				実績値					
				達成率					
				目標値					
				実績値					
				達成率					

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【1-4】

1 施策の概要

担当課

青少年課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-4 子どもが社会と関わる力を育むための成長支援
施策の方向	・家庭や地域と連携しながら、様々な学び、体験の場を広げ、子どもたちが自らの可能性を見つけ、伸ばしていけるよう支援します。

2 成果指標

指標1	指標名	アンケートで「新しいことを知ったり、チャレンジしたい」と思った子どもの割合							
	定義	体験教室に参加した子どもや来館した子どもへのアンケートで「今回の体験をとおりて、これからも新しいことを知ったり、チャレンジしたいと思った」と回答した子どもの割合 青少年課体験教室の参加割合とギャラクシティ体験活動の参加割合の平均							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			90	90				目標値
	実績値		-	88					90%
	達成率			98%	0%				
指標2	指標名	あだち放課後子ども教室利用者満足度							
	定義	参加児童に対するアンケート調査で、放課後子ども教室に参加することが「楽しい」「少し楽しい」と答えた児童の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			99	99				目標値
	実績値		99	99					99%
	達成率			100%	0%				
指標3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値		-						
	達成率								

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1】体験教室では、大学の専門性を生かし、より子どもたちが将来をイメージできるキャリア教育（保健師・柔道整復師等）の側面を充実させていく。ギャラクシティ体験活動では、なりたい自分を見つけ、それに向かってチャレンジできるような講座を実施する。また、リトミック教室やボルタリング教室など、ライフステージの変化に合わせて、つながりのある講座を実施していく。

【指標2】児童の健やかな成長と学び、自立に向けた支援のため、放課後の安全・安心な居場所と体験・交流機会を提供し、地域の方々の協力を得ながら、さらなる質の向上を図っていく。

施策の達成状況とその要因分析

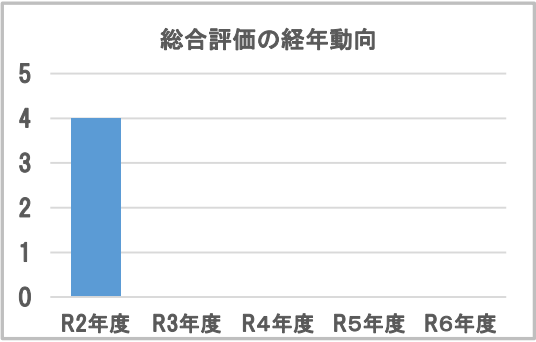
【指標1-青少年課体験教室】今回目標値を達成できた。子どもの生きる力につながる指標として、今後も大学連携事業の実績を維持できるものを提供していく。

【指標1-ギャラクシティ体験活動】ギャラクシティでは、新型コロナウイルスの影響により実施できた講座が少なく、アンケート回答数が少なかったが、参加者の意欲を伸ばす体験は提供できた。

【指標2】コロナ禍においても、引き続き満足度の高い結果となった。安全管理スタッフが協力して感染症対策を取り、実施内容を工夫しながら開催した成果である。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	様々な体験事業を実施することで、子どもたちの新しいことにチャレンジしたい気持ちを養うことができる。コロナ禍で講座や対面事業が中止となったが、オンラインでの事業企画など工夫が見られた。引き続き、ライフステージの変化に合わせてつながりのある講座や対面型と非対面型のプログラムを併用し、子どもたちの体験の機会の充実を図ってもらいたい。またコロナ禍でも放課後子ども教室の利用者満足度は高かったが、体験プログラムが中止となった。子どもの安全・安心な居場所の提供や様々な体験の場であるため、運営方法に柔軟性を持たせながら、工夫して実施してほしい。
R2年度	
4	



施策【1-4】

施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
13	①体験活動(大学連携事業)の推進【青少年課】	大学連携によるプログラムの提供回数(回)	青少年課の大学連携事業の全プログラムの提供数 《【 】内は参加した子どもの延べ人数》	目標値	26	27			33
				実績値	11				【15,200】
				達成率	42%	0%			0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 新型コロナウイルスの影響で予定していた対面事業が出来なくなったため、回数減となった。各大学と話し合い年度後半にオンラインでの事業を企画したが、科学ものづくり教室などプログラムによっては例年以上の参加者増となる成果をあげることができた。						
	A	改善・変更							
14	②ギャラクシティでの多様な体験活動の提供【地域文化課】	イベント・ワークショップ実施回数(回)	イベントや日々のワークショップ実施回数 (目標値)基本協定で締結しているワークショップの最低実施回数 《①【 】内は、上記のうち地元企業やボランティアとの協働による企画数》 《②【 】内は延べ総参加者数》	目標値	2,200	1,600			3,000
				実績値	①【320】 ②【150,000】	①【230】 ②【108,000】			①【360】 ②【160,000】
				達成率	734				
				達成率	1%	0%			0%
15	③あだち放課後子ども教室【学校支援課】	学校・実行委員会との話し合いの回数(回)	実施内容の拡充(対象学年拡大・体験プログラム実施等)に向けた話し合いの回数	目標値	240	240			240
				実績値	151				
				達成率	63%	0%			0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 新型コロナ感染症の拡大により、放課後子ども教室の休止や体験プログラムを実施制限することが多く、拡充に向けた話し合いをする機会が少なくなりました。これからも実行委員会の意思を尊重しながら、コロナ禍においてできる限りの支援を行っていく。						
	A	現状維持							
16	④ジュニアリーダーの育成【青少年課】	子ども会のリーダーを育成する研修会の開催回数(回)	小学4年～6年生を対象としたジュニアリーダー研修会の開催回数 《【 】内は延べ参加者数》	目標値	66	66			69
				実績値	【600】 14	【600】			【650】
				達成率	21%	0%			0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 例年、主に22か所の学校で、各地域の地少協が行っているが、コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、開催会場を大きな体育館に変更し実施できた。開催回数と参加人数は減少したが、今後は、コロナ禍でも実施できる方法や魅力的なプログラムを協働している少連協と検討していく必要がある。						
	A	改善・変更							
				目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)						
				目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)						
				目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)						
				目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)						

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策群 2

妊娠から出産・子育てまで
切れ目なく支える

施策【2-1】

1 施策の概要

担当課 子ども施設入園課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-1 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
施策の方向	・子育て支援を充実し、安心して妊娠、出産、子育てができるよう、切れ目のない支援を行います。 ・子育てサービスを適切・円滑に利用できるよう、親子の居場所や交流の場などの情報提供や、悩みの相談環境の充実を図ります。

2 成果指標

指標1	指標名	子育ては楽しいと感じる割合							
	定義	各保健センター等での3～4か月児健康診査時に行うアンケートで、「子育ては楽しい」と答えた親の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			75	75				目標値
	実績値		71.6	74.6					75%
	達成率			99%	0%				
指標2	指標名	保育コンシェルジュへの相談が役にたった方の割合							
	定義	保育コンシェルジュへ相談した方に対するアンケートで、相談が役にたったと答えた方の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			97	97				目標値
	実績値		—	98					97%
	達成率			101%	0%				
指標3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値		—						
	達成率								

3 担当課における施策評価

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】実績値は目標値にかなり近づき、高い達成率を実現できた。在宅ワーク等、子育て環境が変化したことも要因のひとつと考えられるが、コロナ禍においても、訪問や電話相談により不安を抱える母親の支援を強化した成果である。

【指標2】保育サービスの利用希望者を対象に、タブレット端末や保育ママ等のPR動画を使って、最新の保育情報を視覚的に分かりやすく伝えてきた。その結果、利用者からの満足度は高く、質の高い相談が維持できている。

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1】ハイリスク妊産婦への寄り添い支援を継続強化しつつ、コロナ禍において不安を抱える全妊産婦支援を「とうきょうママパパ応援事業」の活用により実施していく。支援が必要な方へ早期に適切な対応をするとともに、必要に応じ他所管や関係機関につないでいく。

【指標2】令和3年2月より保育コンシェルジュの相談窓口において、保育サービスの相談に加え、育児や子どもの発育など、その他の悩みについても解決できるよう適切に専門機関へつなぐ取り組みを引き続き実施し、子育ての切れ目のない支援の充実を図る。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	各保健センター等での訪問や電話相談によるきめ細かい支援で、保護者の子育てに対する不安が軽減され、満足度に反映されている。また、保育コンシェルジュに育児や子どもの発育などの悩みを気軽に相談できることも育児不安の軽減につながっていると考えられる。
R2年度	悩みの相談環境は充実しつつあるが、その悩みを解消するため、適切な関係機関につなぐとともに、その悩みが何から影響を受けているのか、根本的な要因を把握する必要がある。今後は要因を把握し施策を打ち出すことで、さらなる子育て支援の充実を図ってほしい。

5

総合評価の経年動向

年度	総合評価
R2年度	5
R3年度	4
R4年度	0
R5年度	0
R6年度	0

施策【2-1】

施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況

事業名			活動指標（単位）		定義			R2	R3	R4	R5	R6
17	①妊婦健康診査 【保健予防課】		妊婦健康診査受診回数 (回)	母子健康手帳交付時に配付する14回分の受診票の使用回数(里帰り等による助成の回数を含む)	目標値	61,120	61,290					61,800
	実績値	53,219										
	達成率	87%			0%				0%			
	【総合評価】(課長評価) 妊娠届出数が1割程度減少しているコロナ禍においても、目標値に対し高めの達成率となった。平均受診回数も12回と前年度の11回から増加している。妊娠届出及び妊婦訪問時に保健師が必要健診回数をきちんと受診することの大切さを伝えてきた成果と考えられる。妊婦健康診査は、胎児の発育状態の確認や母体の異常を早期発見するために大変重要なものである。											
施策への貢献度		今後の方針	B	現状維持								
18	②ファミリー学級 【保健予防課】		ファミリー学級学級数 (数)	ファミリー学級の年間開催学級数 (平日、土曜日、日曜日) 【 】内は参加者数(実人数)	目標値	108	108					110
	実績値	56										
	達成率	52%			0%					0%		
	【総合評価】(課長評価) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各保健センター等の平日・土曜日開催分は年度当初から中止(7月のみ実施)とし、日曜ファミリー学級は7月からの開始とした。日曜日1日制に定員を大きく上回る申込みがあったため、8回実施を9回とし、土曜日1日制を10月から再開した。父親とともに参加できる1日制の人気が高く、パートナーと一緒に体験し気持ちを共有したいという要望が、参加者アンケートからも読み取れる。引き続きニーズの把握に努め、周囲の理解やサポートにつなげていく。											
施策への貢献度		今後の方針	B	現状維持								
19	③妊産婦家庭訪問事業 【保健予防課】		妊娠期から生後3か月までの支援対象者への訪問件数(件)	妊娠届で把握した特に支援が必要な妊産婦に訪問を実施した件数 【 】内は対象訪問件数(特に支援が必要な妊産婦×訪問4回)	目標値	1,800	1,800					1,800
	実績値	1,658										
	達成率	92%			0%					0%		
	【総合評価】(課長評価) 妊娠届及びアンケートの内容から支援が必要な妊婦を把握し、保健師や助産師が訪問や面接・電話などできめ細やかに妊産婦への指導や相談・助言を行っている。令和2年度の特に支援が必要な妊産婦は405人で、4回以上の訪問を実施できた。ハイリスク妊産婦の支援を強化しつつ、新規事業の活用により全妊産婦の状況を把握し、身体的・精神的負担等を軽減できるよう支援していく。											
施策への貢献度		今後の方針	A	現状維持								
20	④こんにちは赤ちゃん訪問事業 【保健予防課】		こんにちは赤ちゃん訪問事業訪問件数(件)	当該年度に出生した訪問希望者に対するこんにちは赤ちゃん訪問で保健師・助産師が訪問指導した件数 【 】内は希望件数	目標値	4,260	4,130					3,900
	実績値	3,558										
	達成率	84%			0%					0%		
	【総合評価】(課長評価) 訪問希望者に対する訪問率は例年高い割合を維持している。特に支援が必要な世帯へは、妊娠前から産後期にかけての継続した支援として、複数回訪問を実施した。また、緊急事態宣言下においては、訪問を希望されない方には、電話による相談を実施しフォローした。乳児の発育状況と生活状況の把握に加え、産後うつ等になりやすい時期に相談にのることで母親の育児不安解消と虐待の未然防止に努めた。											
施策への貢献度		今後の方針	A	現状維持								
21	⑤乳幼児健康診査 【保健予防課】		乳幼児健康診査実施回数(回)	各保健センター等における乳幼児健康診査の実施回数 【 】内は受診者数	目標値	410	410					410
	実績値	312										
	達成率	76%			0%					0%		
	【総合評価】(課長評価) 緊急事態宣言下の4月・5月の乳幼児健康診査は、中止・延期とした。対象者には、電話による相談などフォローを行った。各保健センター等に来ることを敬遠する方もいたため、受診人数は目標値を下回った。乳幼児の発育・発達状況の確認、疾病や異常の早期発見のほか、母親の育児不安の軽減やメンタルフォローの場にもなっており、総合的な健診の場として重要な役割を果たした。											
施策への貢献度		今後の方針	A	現状維持								
22	⑥産前・産後家事支援事業 【こども家庭支援課】		年間延べ訪問件数(件)	産前・産後家事支援事業の年間延べ訪問件数	目標値	450	520					500
	実績値	520										
	達成率	116%			0%					0%		
	【総合評価】(課長評価) 本事業は、産前から産後にわたって妊産婦の家事負担の軽減に寄与している。令和2年度は目標値を上回る実績があった。要因として、各保健センター等とも連携し地道に事業周知を図ってきたことが挙げられる。令和3年4月からの利用可能期間の拡充にとともに、利用者のニーズに対応できる供給量の確保に向けて事業者と調整した。引き続きサービスの質の向上・平準化を図っていく。											
施策への貢献度		今後の方針	B	現状維持								
23	⑦子育てサロン 【住区推進課】		イベント回数(回)	年間イベント(絵本読み聞かせ・親子ふれあい遊び・ベビーマッサージ等)実施回数 【 】内、①は参加者総数、②は①の内、男性参加者数	目標値	2,620	2,640					2,700
	実績値	48,282			49,631					①【53,860】		
	達成率	309			337					②【430】		
	実績値	1,132										
施策への貢献度		今後の方針	A	現状維持								
24	⑧保育コンシェルジュ 【子ども施設入園課】		保育コンシェルジュ相談延べ人数(人)	保育コンシェルジュ相談延べ人数	目標値	3,150	2,600					3,991
	実績値	2,343										
	達成率	74%			0%					0%		
	【総合評価】(課長評価) コロナ禍において区民の方に安心して利用していただけるよう子育てサロンでの出張相談を予約制に切り替えて実施したことなどから、相談人数は前年度と比べ814人減少し、目標値を下回った。令和3年4月からは、対面による相談以外の新たな手段として、オンライン相談を実施し、相談の機会の増加を図っていく。											
施策への貢献度		今後の方針	A	改善・変更								

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-2】

1 施策の概要

担当課 私立保育園課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人		
施策群	2	妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える	
施策	2-2	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	・多様な働き方を背景とした保護者の保育ニーズに応じた教育・保育サービスを確保します。		

2 成果指標

指標1	指標名	保育需要に対する待機児童率【低減目標】						
	定義	待機児童数÷保育需要数(各保育施設等の利用児童数+待機児童数) ※4月1日現在						
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値			0	0			目標値
	実績値		0.89	0				0%
	達成率			100%				
指標2	指標名	学童保育室の待機児童率【低減目標】						
	定義	待機児童数÷入室申請者数 ※4月1日現在						
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値			0	5.8			目標値
	実績値		5.1	6.1				0%
	達成率			0%				
指標3	指標名	「男女が対等な立場で意思表示や活動をすることができ、また責任を分かち合っている」と感じている区民の割合						
	定義	「足立区政に関する世論調査」						
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値			40	40			目標値
	実績値		31	31				50%
	達成率			78%				

3 担当課における施策評価

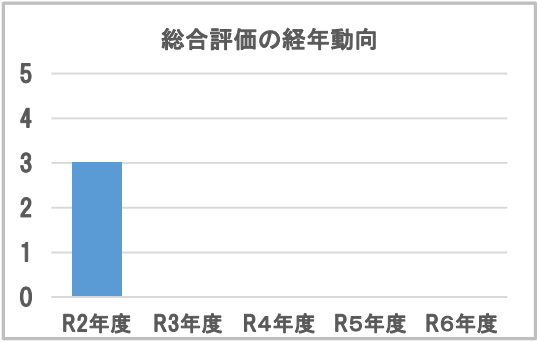
【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析	
【指標1】小規模保育所1件の新規整備等により、昨年度と同程度の保育定員数を確保し、保育所待機児童は、令和3年4月1日現在0人となり解消された。	
【指標2】民設学童保育室2室、指定管理学童保育室1室を新たに開設し、110人の定員増を図ったが、大型マンション建設による人口増や働き方の多様化による区全体の学童保育需要を満たすことができなかった。	
【指標3】世論調査は概ね30%前後で推移しており、目標を下回っている。特に政治・経済分野をはじめとする社会における男女格差の存在が区民意識の低迷にも影響していると考えられる。	

【指標1】地域ごとの詳細な保育需要分析を継続し、妊娠届時の意向調査等も踏まえ保育定員の需要調整に関する計画を策定し、アクションプランの改定を行う。保護者のニーズに応じた受け皿確保の方策を検討・実施する。
【指標2】「足立区学童保育室整備計画」に基づき、需要を予測し、小学校内への設置を基本に民設学童の誘致による整備を行う。また児童館特例利用などの情報提供により、各家庭の事情に合わせた放課後の居場所を提供する。
【指標3】子どもの成長に応じ、各ライフステージでWLBを推進し、男性の家事・育児参加に関する講座を展開する等、男女共同参画社会の推進に対する意識づけを行っていく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	保育需要に対する待機児童数は0人となり目標は達成した。一方で学童保育室は定員増を図ったが、待機児童率は厳しい水準を維持している。令和2年度の整備計画の見直しにより精度が上がることで、今後の目標達成に期待するとともに、児童館特例利用や放課後子ども教室などを積極的に情報提供し、子どもの居場所確保に努めてもらいたい。また、WLBを通じて、当事者だけでなく周りの人々の子育てに対する理解が深まり、男性向けの講座・イベントの参加により、子育てに対する意識が醸成され、子育てしやすい環境が広がることを期待する。
R2年度	
3	



施策【2-2】

施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況

	事業名		活動指標（単位）		定義			R2	R3	R4	R5	R6	
25	①保育施設等の整備 【私立保育園課】		保育施設整備数（累計件）	令和2年～6年度における、認可保育所、認証保育所、小規模保育の新規整備及び定員見直しを伴う改修等の実施件数 ※「足立区待機児童解消アクション・プラン（令和元年8月改定版）」に基づく令和2年度の整備予定件数	目標値	1	3					5	
					実績値	1							
					達成率	100%	0%				0%		
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 （課長評価）	令和2年4月1日の待機児ゼロを目指したアクションプランに基づく新規施設整備は完了しており、今後は、定員見直しを伴う改修や老朽化等による建て替え事業がメインとなる。事業実施にあたっては、後期等のスケジュール管理を徹底し、必要な整備を事業者と協議しながら進捗していく。									
	A	現状維持											
26	②保育士確保・定着対策 【私立保育園課】		就職相談会の実施回数（回）	就職相談会等の実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	4 【110】	2 【100】					8 【310】	
					実績値	1 【51】							
					達成率	25%	0%				0%		
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 （課長評価）	保育士確保・定着は、安定した保育所運営には欠かすことのできない施策である。在籍年数の分析を進め、新規開設整備の計画がなくなったことから、確保重視から定着重視へのシフトを確実に実施し、保育士確保・定着に努めていく。									
	A	現状維持											
27	③学童保育室の運営 【住区推進課】		学童保育室受入可能数増数（人）	区直営、運営委託（指定管理、住区センター）、民設運営（学童クラブ補助対象分）の受入可能数増分	目標値	90	210					430	
					実績値	120							
					達成率	133%	0%				0%		
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 （課長評価）	「平成31年度学童保育室待機児童緊急対策」に基づき、令和2年度に民設学童保育室2室、指定管理学童保育室1室を新たに開設し、120人の受入可能数増を図った。今後は、令和2年3月に策定した「足立区学童保育室整備計画」に基づき、計画的に整備を進めていく。									
	A	現状維持											
28	④ワーク・ライフ・バランスの推進 【多様性社会推進課】		WLBを推進するため区内企業へ働きかけした件数（件）	架電・DM・訪問など働きかけした件数 ※10人以上、300人未満の区内企業数＝1,600社	目標値	450	2,000					2,000	
					実績値	1889							
					達成率	420%	0%				0%		
			男性向け講座・イベントの実施回数（回）	男性向け講座・イベントの実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	10 【250】	10 【250】				11 【500】		
					実績値	3 【30】							
					達成率	30%	0%				0%		
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 （課長評価）	新型コロナウイルス感染拡大の影響による講座の中止により、目標値を大きく下回った。しかし、退職前後の男性を対象とした講座や住区推進課と連携した男性の子育て応援講座を実施するなどして、男性の積極的な家事・育児参加を促した。今後も、引き続き機会の場の提供と支援を行っていく。※R2目標値450は働きかけをして興味を示す見込数									
		A	現状維持										
							</						

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

施策【2-3】

1 施策の概要

担当課 こども家庭支援課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人							
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える							
施策	2-3 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止							
施策の方向	・児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応等を図るため、地域におけるきめ細やかな体制の充実を進めます。 ・困難を抱える子育て家庭の悩みや相談に応じ、経済的支援をはじめ、親と子どもに寄り添った様々な支援を行います。							

2 成果指標

指標1	指標名	児童虐待解決率							
	定義	虐待解決数(児童相談所への送致や訪問指導により虐待を起こす要因が解消された数)÷虐待件数							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			80	80				目標値
	実績値		73	66					80%
指標2	達成率			83%	0%				
	指標名	高等職業訓練促進給付金受給後の正規雇用者数							
	定義	ひとり親家庭を対象とする高等職業訓練促進給付金事業を活用後、就労(正規雇用)した方の数							
	単位	人	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			15	17				目標値
指標3	実績値		14	15					25人
	達成率			100%	0%				
	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値		—						
	達成率								

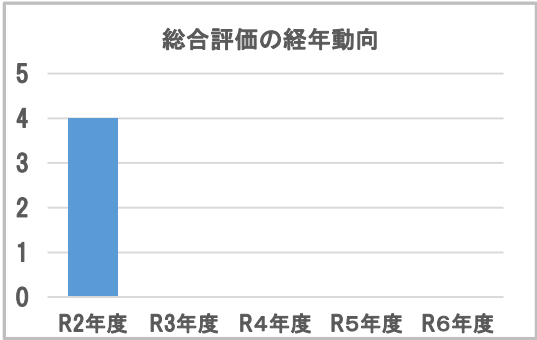
3 担当課における施策評価

施策の達成状況とその要因分析	
【指標1】	児童虐待通告受理件数が1,053件と、初めて1,000件を超えた。児童虐待該当件数の増加に加え、コロナ禍で訪問等による面会が制限されたことや、各事案の複雑化及び多様化が挙げられる。
【指標2】	給付金事業活用により養成校を卒業後、15人が取得した国家資格を活かし、就労につながり、1人はさらに高度な資格取得のため進学を目指し、非正規就労となった。

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上 ・ライフステージ間のつなぎの強化	
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性	
【指標1】	児童虐待対応については、迅速かつ的確に実情把握し支援にあたる。ライフステージに沿って子どもの命を守る支援に向けて、妊産婦支援の所管機関や学校等も含めた地域ネットワークの強化を図る。
【指標2】	安心して子育てできるよう安定した生活環境に向けた、ひとり親家庭の経済的自立促進等の支援については、国の施策として対象が拡大することになり、事業周知を徹底し、きめ細やかな支援により、就労につなげていく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	4	虐待事案は複雑化・多様化により、対応が困難を極める中、関係機関と連携し、子どもや親の支援に取り組んでいる。コロナ禍で社会・家庭状況も不安定な時期であるため、関係機関が見逃さずに早期発見することが重要である。また、正規雇用への支援は、安定した暮らしにつながることから、重要な支援といえる。今後も子育て世帯の安定した暮らしのため、寄り添った相談体制や経済的支援の充実を図ってもらいたい。
R2年度		



施策【2-3】

施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
29	①きかせて子育て訪問事業 【こども家庭支援課】	支援回数（回）	きかせてサポーターが利用者宅で支援を行った年間延べ支援回数 《【 】内は利用者数》	目標値	102	120			102
					【30】	【30】			【30】
				実績値	145				
					【42】				
		達成率	142%	0%				0%	
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）利用者宅を訪問し、出産や育児に関する気持ちを傾聴することで、利用者の不安やストレスの軽減を図った。令和2年度からの新たな取り組みとして、未就園児等のうち孤立しているおそれがある世帯に対し、アウトリーチ型の戸別訪問を行った。						
B		現状維持							
30	②メール配信事業 「新米ママパパの子育てブログ」 【こども家庭支援課】	配信記事数（本）	メール配信する配信記事（ブログ調記事）の種類（数） 《【 】内は登録者数》	目標値	90	90			90
					【12,000】	【13,000】			【15,000】
				実績値	94				
					【18,959】				
		達成率	104%	0				0	
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）記事は、妊娠中から未就学児の育児までにわたる内容で、育児不安への対処法なども紹介している。コロナ禍における情報発信媒体として需要が高まり、登録者数は目標を達成した。						
B		現状維持							
31	③児童扶養手当 【親子支援課】	児童扶養手当認定件数（件）	児童扶養手当認定請求に対する認定件数	目標値	854	845			820
				実績値	872				
		達成率	102%	0%				0%	
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）手当の受給者数は、年少人口の減少とともに毎年減少しているが、認定件数は、ここ数年受給者数と比例して毎年減少するという事ではなく、対前年度比で増減を示している。なお、令和2年度の実績値については、コロナの影響（離婚等）によるものではなく、様々な事由が前年度の件数を上回り、結果として目標値を上回る実績となった。						
A		現状維持							
32	④ひとり親家庭応援メールの配信 【親子支援課】	メール配信の情報件数（件）	豆の木メールで配信した情報の件数 《【 】内は登録世帯数》	目標値	220	240			300
					【2,800】				【3,500】
				実績値	225				
					【3,094】				
		達成率	102%	0%				0%	
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による各種減免制度、猶予制度や給付金のお知らせなど、社会情勢に応じた情報を発信し、貢献できた。						
A		現状維持							
33	⑤就労のための資格取得支援 【親子支援課】	ひとり親家庭向け就労支援事業を活用した人数（人）	ひとり親家庭を対象にした就労支援給付金補助をはじめ、就労セミナー・講座等区が行う就労支援事業を活用した人数	目標値	200	225			300
				実績値	150				
		達成率	75%	0%				0%	
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響から、資格取得に向けた養成機関への修学を控える方もおり、全体の目標値は下回ったが、在宅ワークなど働き方の変化からパソコン講座など就労セミナー等は、募集人数上限に達するほど人気であり、貢献度は高かった。						
A		現状維持							
34	⑥（区民向け）児童虐待予防講座の実施 【こども家庭支援課】	講座の開催回数（回）	児童虐待防止啓発事業（子育て交流講座（NP講座）、イライラしない子育て講座、講演会、オレンジリボンキャンペーン等）の実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	12	12			13
					【120】	【120】			【164】
				実績値	7				
					【71】				
		達成率	58%	0%				0%	
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）緊急事態宣言発令中は安全確保を優先し、講座を中止とした。宣言解除の時機を捉え、安全対策を徹底した上で、年度当初の予定にはない日程で追加開催を行ったが、合計の実施回数は減少した。						
B		現状維持							
35	⑦児童虐待対応 【こども家庭支援課】	児童虐待受理件数（件）	こども家庭支援課における児童虐待に関する受理件数	目標値	900	1,100			1,345
				実績値	1,053				
		達成率	117%	0%				0%	
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）児童虐待は、子どもの心身の成長に悪影響を及ぼすことから、早期発見、早期対応が重要である。児童虐待通告受理件数は依然として増加傾向にある中、児童相談所からの送致等が増加した。虐待種別では心理的虐待該当事案が増加した。引き続き高い危機意識を持ち、迅速かつ的確に実情把握するとともに、関係機関と連携して支援にあたる。						
A		現状維持							
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】（課長評価）						

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-4】

1 施策の概要

担当課 ユニバーサルデザイン担当課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-4 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備
施策の方向	・妊産婦、子育て家庭等、全ての人たちが安全安心に外出できるよう、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりを推進していきます。

2 成果指標

指標1	指標名	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点の平均値【子ども子育てに関係する事業】							
	定義	推進計画、「柱3 便利に生活できる『まちづくり』」のうち、施策3-(1)から3-(4)に位置付けられた一部の事業のうち、「だれもが利用しやすい施設や環境等を整備する」ための個別事業の5段階評価の評価点の平均値							
	単位	点	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			4.0	4.0				目標値
	実績値		4.1	3.88					4.2点
	達成率			97%	0%				
指標2	指標名	よく行く、または行きたい公園がある区民の割合							
	定義	世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民(20~40歳代)の割合(そう思う、どちらかといえばそう思うの合計) (算出式) A÷B A:世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民(20~40歳代)の数 B:世論調査に回答した区民(20~40歳代)の数							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			50	50				目標値
	実績値		44.3	49.8					50%
	達成率			100%	0%				
指標3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値								
	達成率								

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】ユニバーサルデザインに対する社会の要請は、質的、量的にも変化しているが、日々模索しながら事業を展開しているため、それが評価に反映されたと考える。引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に合わせた新しい生活様式など、新しい視点にも注視しつつ関係所管と協力して、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に努める。

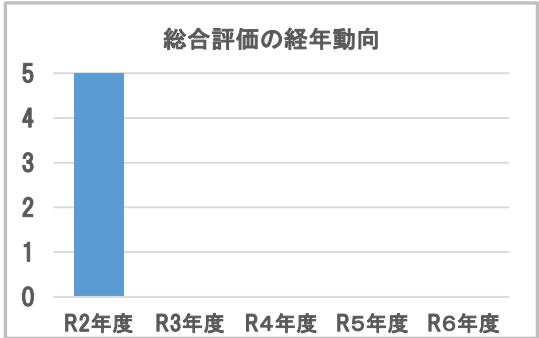
【指標2】改修した5公園では、利用者が15%以上増加した。「魅力的な地域の公園づくり」と「持続可能な公園運営」というパークイノベーションの考え方に基づく改修・新設公園は51か所となり、実績値にも成果が現れてきたと考える。引き続きパークイノベーションを推進し、「よく行く、または行きたい公園がある区民の割合」の向上に努める。

【指標1】多様な人々への配慮も含め、子育て世代も安心して利用できるユニバーサルデザインの視点をもちながら、区民の生活や生命を守る重要な公共施設の整備を進めていく。

【指標2】利用者の意見を丁寧に聞きながら、子育て世代が様々な楽しめる公園整備(改修)を進めている。また、中高生が公園を利用するきっかけになるようなバスケットゴールの設置等も進めており、多様な世代の公園利用に努めていく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	ほぼ目標達成をしている。ユニバーサルデザイン推進計画による評価も良好である。また、テーマを設定した公園は、区民からも魅力的な公園となっているようだ。エリアデザイン計画やバリアフリー地区別計画によるまちづくりが進んでいる地域等で、引き続き公園の改修を進め、利用者や地域の意見を取り入れながら、魅力ある公園整備を進めてもらいたい。また、ホームページ等で公園や子育てに関する情報を効果的に発信し、利用促進に努めてもらいたい。
R2年度	
5	



施策【2-4】

施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
36	①ユニバーサルデザイン(バリアフリー)の推進 【ユニバーサルデザイン担当課】	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点(点)	推進計画、「柱4 みんなに役立つ『しくみづくり』」のうち、「4-(1)-①ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理」に関する評価点	目標値	4.0	4.0			4.5
				実績値	4.0				
				達成率	100%	0%			0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、区のそれぞれの施策が様々な方法を模索しながら事業展開している。こうした中、これまでの施策を検証し、誰もが安心、安全に生活できるようユニバーサルデザインの視点や新しい価値観を持ちながら、関係所管と協力しながら、施策を着実に実施していく。						
37	②公園等遊具の安全対策 【公園管理課】	全遊具の日常点検遊具数(基)	月1回遊具点検表に基づき点検し、修繕の要・不要・経過観察の判定がなされる遊具数(点検の際に簡単なメンテナンスにより安全使用が可能となる)	目標値	2,108	2,106			2,115
				実績値	2108				
				達成率	100%	0%			0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 令和2年度の2,108基の遊具については、公園維持管理作業委託による施設点検と専門業者による遊具点検で、安全性が損なうE判定も無く、令和3年度以降も引き続き安全な遊具の維持管理に努めていく。						
38	③パークイノベーションの取り組みの推進 【パークイノベーション担当課】	改修・新設した公園数(か所)	足立区パークイノベーション推進計画に基づき、改修・新設した公園数	目標値	48	58			88
				実績値	51				
				達成率	106%	0%			0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 公園ごとに役割と機能を割り振り、目的に合わせて選べる公園づくりを進めるパークイノベーションの取組みは、各世代に受け入れられてきている。今後もパークイノベーションを推進し、魅力ある公園づくりに努めていく。						
39	④あだち子育てガイドブックの普及 【子ども政策課】	あだち子育てガイドブックの配布場所数(か所)	あだち子育てガイドブックを配布する場所(子育てに関連する機関や施設の窓口等)の箇所数 《【 】内は配布冊数》	目標値	53	58			73
					【22,600】	【23,700】			【30,000】
				実績値	53				
					【22,600】				
				達成率	100%	0%			0%
		区ホームページのあだち子育てガイドブックアクセス数(回)	区ホームページのあだち子育てガイドブックへのアクセス数	目標値	3,700	3,800			4,000
				実績値	3,713				
				達成率	100%	0%			0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) あだち子育てガイドブックの配布により、子育て世代への情報発信など子育てのしやすさに貢献している。民間施設等に配布を依頼することで、普及を進めている。あわせて電子ブック版の普及も進めていく。						
				目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)						
				目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)						

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

教育・保育
【教育】

単位:人

		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
計画	量の見込み	5,542	2,005	5,408	1,963	5,265	1,908	5,121	1,859	4,979	1,807
	確保方策	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955
実績	確保方策	8,871	2,207								
	【参考】利用実績	5,713	2,176								
達成率		100%	113%								

【保育】

単位:人

			R2年度			R3年度			R4年度			R5年度			R6年度		
			2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳	2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳	2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳	2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳	2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳
千住地域	計画	量の見込み	1,185	826	129	1,156	791	127	1,102	768	126	1,060	762	125	1,029	755	124
		確保方策	1,255	842	233	1,255	855	239	1,255	855	239	1,255	855	239	1,255	855	239
	実績	確保方策	1,255	859	220												
		【参考】利用実績	994	688	148												
		達成率	100%	102%	94%												
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	1,514	1,097	242	1,479	1,071	234	1,445	1,040	232	1,413	1,019	225	1,375	1,003	220
		確保方策	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310
	実績	確保方策	1,794	1,159	309												
		【参考】利用実績	1,428	1,088	210												
		達成率	99%	100%	100%												
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	1,354	962	209	1,324	938	204	1,294	911	199	1,260	891	197	1,228	876	194
		確保方策	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301
	実績	確保方策	1,640	1,106	287												
		【参考】利用実績	1,421	1,012	228												
		達成率	100%	100%	95%												
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	1,758	1,285	273	1,713	1,249	264	1,673	1,211	259	1,628	1,179	254	1,581	1,158	250
		確保方策	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352
	実績	確保方策	2,128	1,448	325												
		【参考】利用実績	1,793	1,287	214												
		達成率	100%	97%	92%												
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	1,568	1,131	205	1,541	1,101	198	1,498	1,066	196	1,457	1,042	190	1,413	1,024	188
		確保方策	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287
	実績	確保方策	1,944	1,269	282												
		【参考】利用実績	1,573	1,121	229												
		達成率	100%	102%	98%												
新田地域	計画	量の見込み	247	203	29	231	199	28	224	196	28	219	192	28	214	190	27
		確保方策	307	216	57	307	216	57	307	216	57	307	216	57	307	216	57
	実績	確保方策	304	206	44												
		【参考】利用実績	254	184	33												
		達成率	99%	95%	77%												
区全域	計画	量の見込み	7,626	5,504	1,087	7,445	5,349	1,055	7,236	5,192	1,040	7,037	5,084	1,019	6,839	5,005	1,003
		確保方策	9,095	6,056	1,540	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546
	実績	確保方策	9,065	6,047	1,467												
		【参考】利用実績	7,463	5,380	1,062												
		達成率	100%	100%	95%												

※令和3年度以降の実績値は空欄となっておりますが、今後数値が入ります。

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

地域子ども・子育て支援事業

【放課後児童健全育成事業(学童保育室)】

単位:人

			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
千住地域	計画	量の見込み	889	912	930	928	913
		確保方策	889	912	930	928	913
	実績	確保方策	889				
		【参考】利用実績	681				
		達成率	100%				
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	748	746	740	730	714
		確保方策	909	939	989	989	989
	実績	確保方策	909				
		【参考】利用実績	1,120				
		達成率	100%				
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	1,081	1,080	1,064	1,054	1,034
		確保方策	1,081	1,080	1,064	1,054	1,034
	実績	確保方策	1,081				
		【参考】利用実績	976				
		達成率	100%				
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	1,708	1,681	1,633	1,590	1,552
		確保方策	1,708	1,681	1,633	1,590	1,552
	実績	確保方策	1,708				
		【参考】利用実績	1,624				
		達成率	100%				
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	1,150	1,139	1,120	1,107	1,092
		確保方策	1,150	1,139	1,120	1,146	1,176
	実績	確保方策	1,150				
		【参考】利用実績	1,244				
		達成率	100%				
新田地域	計画	量の見込み	263	235	211	190	176
		確保方策	346	346	346	346	346
	実績	確保方策	346				
		【参考】利用実績	292				
		達成率	100%	0%	0%	0%	0%
区全域	計画	量の見込み	5,839	5,793	5,698	5,599	5,481
		確保方策	6,083	6,097	6,082	6,053	6,010
	実績	確保方策	6,083				
		【参考】利用実績	5,937				
		達成率	100%				

※令和3年度以降の実績値は空欄となっておりますが、今後数値が入ります。

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【子育てサロン事業】

単位:人回/年

			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
千住地域	計画	量の見込み	62,939	60,990	59,612	59,040	58,570
		確保方策	64,834	64,834	64,834	64,834	64,834
	実績	確保方策	64,834				
		【参考】利用実績	24,472				
		達成率	100%				
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	55,042	53,492	52,364	51,175	50,257
		確保方策	61,234	61,234	61,234	61,234	61,234
	実績	確保方策	61,234				
		【参考】利用実績	17,636				
		達成率	100%				
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	46,141	44,909	43,756	42,873	42,201
		確保方策	76,700	76,700	76,700	76,700	76,700
	実績	確保方策	76,700				
		【参考】利用実績	11,767				
		達成率	100%				
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	66,683	64,640	62,919	61,430	60,372
		確保方策	164,128	164,128	164,128	164,128	164,128
	実績	確保方策	164,128				
		【参考】利用実績	38,441				
		達成率	100%				
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	41,412	40,114	39,179	38,206	37,596
		確保方策	73,367	73,367	73,367	79,749	79,749
	実績	確保方策	73,367				
		【参考】利用実績	10,862				
		達成率	100%				
新田地域	計画	量の見込み	13,546	13,243	13,032	12,851	12,762
		確保方策	28,794	28,794	28,794	28,794	28,794
	実績	確保方策	28,794				
		【参考】利用実績	5,909				
		達成率	100%				
区全域	計画	量の見込み	285,763	277,388	270,862	265,575	261,758
		確保方策	469,057	469,057	469,057	475,439	475,439
	実績	確保方策	469,057				
		【参考】利用実績	109,087				
		達成率	100%				

※令和3年度以降の実績値は空欄となっておりますが、今後数値が入ります。

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【平日の定期的な延長保育事業】

単位:人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	千住地域(21時まで)	485	472	455	444	436
	綾瀬・佐野地域(21時まで)	616	601	589	576	562
	梅田・中央本町地域(21時まで)	617	602	587	574	561
	竹の塚・六町地域(21時まで)	557	543	529	516	504
	江北・鹿浜・舎人地域(21時まで)	489	476	463	453	442
	新田地域(21時まで)	117	110	109	107	104
	21時以降区全域	386	374	365	355	346
	量の見込み【区全域】	3,267	3,178	3,097	3,025	2,955
	千住地域	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073
	綾瀬・佐野地域	2,802	2,802	2,802	2,802	2,802
	梅田・中央本町地域	2,552	2,552	2,552	2,552	2,552
	竹の塚・六町地域	2,916	2,916	2,916	2,916	2,916
	江北・鹿浜・舎人地域	2,890	2,890	2,890	2,890	2,890
	新田地域	449	449	449	449	449
	確保方策【区全域】	13,682	13,682	13,682	13,682	13,682
実績	千住地域	2,073				
	綾瀬・佐野地域	2,802				
	梅田・中央本町地域	2,552				
	竹の塚・六町地域	2,931				
	江北・鹿浜・舎人地域	2,890				
	新田地域	449				
	確保方策【区全域】	13,697				
	千住地域	400				
	綾瀬・佐野地域	640				
	梅田・中央本町地域	590				
	竹の塚・六町地域	768				
	江北・鹿浜・舎人地域	621				
	新田地域	164				
	【参考】利用実績【区全域】	3,183				
達成率		100%				

※令和3年度以降の実績値は空欄となっておりますが、今後数値が入ります。

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【【幼稚園在園児】一時預かり等の利用】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	381,536	372,694	362,878	353,066	343,071
	確保方策	491,953	491,953	491,953	491,953	491,953
実績	確保方策	456,895				
	【参考】利用実績	440,555				
達成率		93%				

【【幼稚園在園児を除く】不定期の一時預かり等の利用】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	381,536	372,694	362,878	353,066	343,071
	確保方策	53,142	50,421	47,438	44,679	42,730
実績	確保方策	42,654				
	【参考】利用実績	20,025				
達成率		80%				

【こどもショートステイ事業(在宅型・施設型)】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	2,933	2,858	2,790	2,725	2,664
	確保方策	2,936	2,936	2,936	2,936	2,936
実績	確保方策	2,928				
	【参考】利用実績	1,903				
達成率		100%				

【ファミリー・サポート・センター事業／子ども預かり・送迎支援事業(小学生)】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	7,830	7,124	6,505	5,963	5,485
	確保方策	20,697	18,984	17,467	16,077	14,817
実績	確保方策	15,434				
	【参考】利用実績	5,843				
達成率		75%				

【病気の際の対応】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	2,859	2,783	2,713	2,647	2,590
	確保方策	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266
実績	確保方策	2,946				
	【参考】利用実績	141				
達成率		90%				

※令和3年度以降の実績値は空欄となっておりますが、今後数値が入ります。

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業】

(ア) 養育支援訪問事業

単位: 人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	842	898	959	1029	1091
	確保方策	○引き続き、「預かり・送迎支援」及び「育児・家事支援」の訪問事業を、NPO法人への委託により支援の量を確保し、支援が必要な家庭に対する相談・支援を進めていきます。				
実績	【参考】利用実績	421				

(イ) 要保護児童対策地域協議会の開催

(ウ) 児童虐待予防講座等の実施

単位: 回

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み					
	要保護児童対策地域協議会の開催	271	290	310	332	355
	児童虐待予防講座等の実施	13	13	13	13	13
	確保方策	○既に子ども施設入園課窓口での相談や子育てサロン等での出張相談の体制を構築しています。 ○今後も引き続き実施し、より適切で的確な保育サービス、子育てサービス等の選択、利用につながるよう支援していきます。 ○保健予防課と各保健センター等での「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」において、妊娠届出書の内容から支援が必要な妊婦を把握し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を今後も引き続き、行っていきます。 ○関係機関と連携することで育児不安や生活上の困難な状況も改善していきます。				
実績	【参考】利用実績	275				

【乳児家庭全戸訪問事業】

単位: 人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	4,300	4,100	4,100	4,000	3,900
	確保方策	○実施体制: 委託訪問指導員・保健師が自宅訪問 ○案内: 訪問連絡票を母子健康手帳に綴じ込み、チラシと一緒に配布しています。訪問連絡票未提出者には電話や通知で勧奨を行い、今後も引き続き、訪問率向上に努めていきます。				
実績	【参考】利用実績	3,558				

【妊婦に対して健康診査を実施する事業】

単位: 人回/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	66,900	64,800	64,000	62,700	61,800
	確保方策	○実施場所: 都内委託医療機関、里帰り等助成(都外医療機関・助産所) ○検査項目・実施回数: 妊婦健診全14回/超音波検査2回/子宮頸がん検診1回 ○案内: 妊娠届出及び妊婦訪問時に妊婦健診の受診勧奨を、今後も引き続き実施していきます。				
実績	【参考】利用実績	53,219				

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【利用者支援に関する事業】

単位:か所

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み					
	基本型・特定型	1	1	1	1	1
	母子保健型	6	6	6	6	6
	確保方策	○既に子ども施設入園窓口での相談や子育てサロン等での出張相談の体制を構築しています。 ○今後も引き続き実施し、より適切で的確な保育サービス、子育てサービス等の選択、利用につながるよう支援していきます。 ○保健予防課と各保健センター等での「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」において、妊娠届出書の内容から支援が必要な妊婦を把握し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を今後も引き続き、行っていきます。 ○関係機関と連携することで育児不安や生活上の困難な状況も改善していきます。				
実績	【参考】利用実績	7				

【実費徴収に係る補足給付を行う事業】

単位:人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	1,129	1,102	1,073	1,043	1,014
	確保方策	○幼稚園等に在園する児童の保護者が、園に対して支払うべき給食費・教材費等の実費の一部について、低所得世帯・多子世帯を対象として補助します。				
実績	【参考】利用実績	1,319				